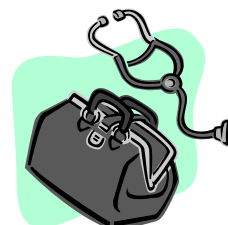
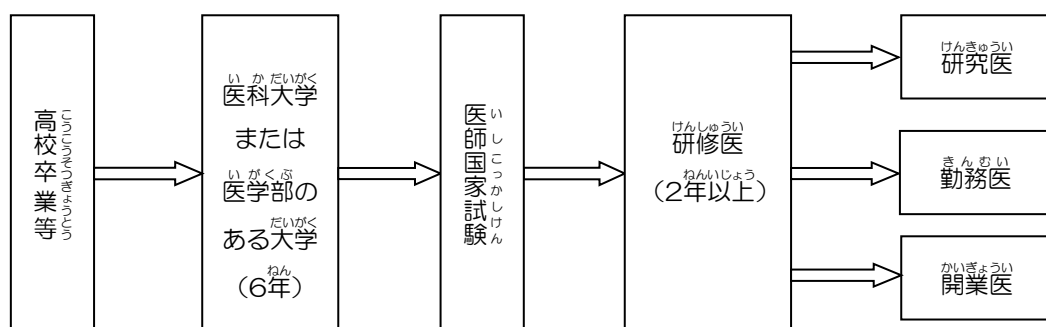


3 医師



みなさんは病気になったことはありますか。病院で言葉が分からず困ったことはありませんか。病院には学校や役所と違い、通訳できる人がほとんどいません。病気の様子を自分の国の言葉で理解してくれる医師は、その国の人にとってとても頼れる存在です。みなさんが医師になることで、困っている人たちを助け、日本と自分の国の懸け橋となり、健康や医療分野の担い手となることで、地域社会に貢献することができます。

医師になるには



<早くから準備をしましょう>

医師になるには、医科大学または大学の医学部で6年間勉強する必要があります。進学には、高い学力が求められます。特に国語や理科、数学といった科目が重要です。また、日本語と母国語もしっかりと勉強しましょう。

<資格を取れば どのところに就職できるの>

医師国家試験に合格後は、2年以上病院等で、研修医として働きます。その後、大学、研究所、製薬会社等で研究を行う研究医、病院や診療所等で働く勤務医、病院を新しく始める開業医の中から自分の好きな道を選んで働きます。

研修医の平均年収は約400万円、勤務医の平均年収は約600万円、開業医の平均年収は、患者数等によって異なりますが、およそ1000~2000万円です。

<費用(学費)はどれくらい?>

国公立大学で350万円以上(6年間)の学費に加えて、実習費・専門書代等が必要で、私立大学ではおよそ2000~5000万円(6年間)かかります。

<奨学金があります>

県内の医科大学または大学の医学部に進学する外国籍の学生に奨学金として上限年額60万円支給する制度があります。また、国籍にかかわらず6年間に渡って奨学金を貸与する制度もあり、一定期間医師として県内で勤務すれば貸与額の返還は免除されます。